

1. 福岡市の都市機能としての強み

- 1) アジアへの近接性、ゲートウェイとしての利便性（陸、海、空）
後背地九州、西日本各県各都市と連携、人・モノ・金・情報の集配
- 2) 若者、国際人材集う学研都市
大学・教育産業、知識創造型産業、ベンチャー起業、
- 3) 自然環境に近接したコンパクトシティ
水と緑豊かな街（海・山・河の恵み）、職住近接暮らしやすさ
- 4) 安全・安心・オープンマインド・絆（子供会議などの成果）
- 5) 老若男女が集う楽しい文化都市（観光資源としても大きな役割）
音楽、芸術、演劇、ファッション、ゲームコンテンツ、アニメ、
料理・食文化、ショッピング、多彩な祭り・イベント
- 6) 歴史・文化の素材（量・質とも）
日本文化発信地、アジア文化発信地（アジアマンス、アジア文化賞）

2. アイランドシティの生かすべき強み

- 福岡の持つ強みを大きく育て、アジアの魅力ある中心都市として認知され、人、モノ、金、情報が集まる貴重なエリアとして位置づける。
- そのための諸施策や仕組み、思い切ったインフラ投資を行いエリアに強力な優位性を創る。県と共に国の総合特区制度などの諸制度をフルに活用し、立地者・入居者に対し魅力的な税制などのインセンティブを作る。
- 投資回収は福岡都市圏全体の税収で賄うくらいの長期的発想が必要。
将来的に福岡が地域主権をリードし道州制の先駆けとなるシナリオを描く。

（具体的イメージ）

- 国内外の研究機関、開発型企业、戦略産業のアジア展開基地（物流、マーケティング、エンジニアリングセンター機能）の立地をはかる。フリーゾーンとして規制緩和や税制、金融面でサポートする。そのため、1ストップサービス機能を備えたエンジニアリングパークを建設し誘致する。
- アジアの中心にふさわしい大規模コンベンション・展示場（10万m²クラス）を設置し学術交流・産業交流・ビジネス商談の拠点とする。
- 海外からの入出国に対してビザ~~等~~などの便宜を図る。また海外からの移住者に対して住環境、子供の教育機関など整備する。
- ベンチャー企業、中小企業（海外企業含む）の成長センターとして海外投資家を呼び込む仕組みを構築する。（ファンド、取引所、証券会社など）
- アイランドシティへのアクセスは高速道路乗り入れの早期実施はもとより、鉄道系の実現を図る。アジア航空路線の拡大と滑走路増設早期実現が必須。

参考資料 : 台湾の事例

・台湾の概要

- ・ 人口 2,300万人
- ・ 面積 36,000km² (ほぼ九州と同じ)
- ・ GDP 4,300億USドル (2010年伸び率10%超)
- ・ 貿易立国 最大輸入相手国: 日本、 最大輸出相手国: 中国
中国との経済協力協定 (E C F A) でさらに成長加速
中台間航空便: 週560便 (2011/6)
- ・ 人材 国際人材豊富 (海外留学、ベンチャー起業)
- ・ 税制 法人税: 25%→17%、相続税: 累進→一律10%
営業税: (消費税相当) 5%
ハイテク関連、外資に対して各種優遇措置あり

・南港ソフトウェアパークの概要

- ・ 位置 台北の東10Km、車で15分、松山空港10分
高速道路、MRT新交通システムあり
台北世界貿易センター大型展示・会議場隣接
- ・ 目的 中国取り込みを意識した各国ハイテク産業の誘致
国内産業との交流
- ・ 敷地面積 58,000坪
- ・ 延べ床 1期 40,000m² (1999年)
2期 42,000m² (2003年)
3期 90,000m² (2007年) 募集中
- ・ 入居者 TECOはじめ国内企業のほかIBM, HP, シーメ
ンス、富士通、ソニーなど約330社入居済み
10年間で3万人の雇用 (約2兆円のビジネス創出)

・台北世界貿易センター南港展覧館

- ・ 延べ床 144,000m² (7F、B2建て)
- ・ 展示場 45,000m² (1F, 4F) 多目的ホール
- ・ 会議場 1,900m²
- ・ オフィス 8,600m²
- ・ レストラン 3,500m²
- ・ 駐車場 (地下) 28,000m² 2,000台